

# 令和6年度事業報告

## 1 会員関係

(1) 会員の状況（令和7年3月31日現在）

ア 会員総数 1,865名（正会員1,794名、賛助会員A9名、賛助会員B61名、特別会員1名）

イ 年間入会者数 154名（正会員152名、賛助会員B2名）

ウ 年間退会者数 180名（正会員180名、賛助会員B0名）

エ 物故会員 8名

慶野多美子氏（つくば薬）、金成幸子氏（日立薬）、松本良彦氏（高萩薬）、島尚敏氏（潮来薬）、黒澤忍氏（水戸薬）、大内貴志氏（水戸薬）、山口博氏（常陸大宮薬）、高橋滋子氏（ひたちなか薬）

(2) 叙位叙勲・表彰等

ア 叙位

令和6年9月29日、故島尚敏氏（潮来薬）が正六位を受けた。

イ 叙勲

令和6年春の叙勲で、坂本君子氏（土浦薬）が学校保健功勞により、瑞宝双光章を受けた。

ウ 大臣表彰

令和6年10月21日、河合光恵氏（水戸薬）、青山芳文氏（病診薬）が薬事功勞により、厚生労働大臣表彰を受けた。

令和6年11月7日、沼崎章氏（牛久薬）が学校保健功勞により、学校薬剤師制度創設70周年記念事業において文部科学大臣表彰を受けた。

エ 茨城県表彰

令和6年12月1日、山本大氏（水戸薬）、小徳めぐみ氏（常陸大宮薬）、日座崇氏（常陸太田薬）、廣瀬康男氏（龍ヶ崎薬）、望月武人氏（つくば薬）、蛭田洋之氏（つくば薬）、守屋隆人氏（筑西薬）が薬事功勞者知事表彰を受けた。

オ 茨城県学校保健会ほう賞

令和6年2月20日、庄司幸枝氏（水戸薬）、鶴田晃恵氏（水戸薬）、黒澤由子氏（ひたちなか薬）、佐藤久子氏（ひたちなか薬）、瀬口恵子氏（龍ヶ崎薬）、藤本稔氏（古河薬）が、学校薬剤師の活動に貢献した功績により、茨城県学校保健会ほう賞を受けた。

カ 日本薬剤師会表彰

令和6年4月1日、戸崎五十三氏（水戸薬）、戸崎成子氏（水戸薬）、奥澤尚子氏（水戸薬）、大森幹雄氏（日立薬）、田中美穂子氏（鉾田薬）、入村満子氏（龍ヶ崎薬）、麻生千鶴子氏（龍ヶ崎薬）、宮本陽子氏（牛久薬）、野口紀子氏（土浦薬）、飯田茂代氏（石岡薬）、宮田宏子氏（筑西薬）、山中孝之氏（常総薬）が、永年の功勞により、日本薬剤師会有功賞を受けた。

キ 県薬会長表彰

令和6年12月1日、松島洋一郎氏（ひたちなか薬）、菊池まゆみ氏（常陸大宮薬）、谷下田幹子氏（常陸太田薬）、石木弘美氏（龍ヶ崎薬）、高野真氏（龍ヶ崎薬）、藤田淳子氏（牛久薬）、森田佳代氏（石岡薬）、岡野京子氏（つくば薬）、千葉瑞恵氏（つくば薬）、関啓三氏（筑西薬）、宮田純子氏（筑西薬）、中曾根英明氏（常総薬）、榎本龍雄氏（常総薬）

が、茨城県薬剤師会の会務・事業に貢献した功勞により、県薬会長表彰を受けた。

## 2 会務関係

[会議の開催]

### ① 定時総会

令和6年6月27日に定時総会を開催し、令和5年度会務及び事業報告、令和5年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの附属明細書の承認、令和6年度事業計画及び収支予算報告、公益社団法人茨城県薬剤師会会費規程の一部改正、理事（特定候補者）の選任等に係る協議を行った。

### ② 理事会

令和6年5月21日、7月20日、11月12日、令和7年3月11日の4回開催し、令和6年度定時総会に付議すべき事項、公益社団法人茨城県薬剤師会学校薬剤師部会規則の一部改正、つくば薬剤師会に関連した民事裁判の終結、令和6年度第1次補正予算、選挙管理委員会委員の委嘱、代議員選挙の告示、令和6年度第2次補正予算、令和6年度第3次補正予算、令和7年度定時総会の開催日、令和7年度事業計画、令和7年度予算、公益社団法人茨城県薬剤師会会員規程の一部改正、公益社団法人茨城県薬剤師会役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正、ハラスメント防止宣言の制定、地域・職域薬剤師会承認規程の一部改正、公益社団法人茨城県薬剤師会就業規則の一部改正、公益社団法人茨城県薬剤師会職員給与規則の一部改正、専務理事報酬等の額、事務局長の任免、再雇用職員の給与等雇用条件等に係る協議を行った。

### ③ 常任理事会

令和6年4月9日、5月21日、6月27日、7月20日、9月10日、10月8日、11月12日、令和7年1月14日、2月4日、3月11日の10回開催し、入会の承認等、委員会等の報告、会務執行状況、委員会委員の変更、学校薬剤師部会幹事の変更、関東ブロック協議会への提案議題、購読雑誌の処分と購読継続の可否、県政要望、理事会に付議すべき事項、調剤実習等で使用されていた調剤機器の譲渡及び廃棄、日本薬剤師会関東・東京ブロック会議、茨城県薬剤師会研究助成事業実施要項の廃止等に係る協議を行った。

### ④ 正副会長会議

令和6年4月9日、5月21日、7月20日、9月10日、10月8日、11月12日、令和7年1月14日、1月20日、2月4日、3月11日の10回開催し、会務の執行について協議を行った。

### ⑤ 地域・職域薬剤師会会長協議会

令和6年7月11日、11月21日、令和7年2月13日の3回開催し、令和6年度事業の進捗状況、会員表彰の推薦、代議員選挙告示、薬剤師資格証交付業務、会員の変更届の電子化等について協議を行った。

### ⑥ 常置委員会

#### ア 総務委員会

令和6年10月28日に開催し、コンプライアンス等に関する研修会、新入会員への会員徽章、会員の変更届の電子化等について協議を行った。

#### イ 広報委員会

令和6年5月27日、11月18日に開催し、県薬会報誌のWEB版移行、県薬会報の巻頭言および編集後記の順序、県民公開講座、「薬と健康の週間」啓発資材、日本薬剤

師会公式キャラクター「ふあるみん」のご当地デザイン、公式SNS運用等について協議を行った。

ウ 学術研修委員会

令和7年1月9日に開催し、茨城県薬剤師学術大会、研究助成事業、研究計画書作成等に関する研修会等について協議を行った。

エ 薬局業務委員会

令和6年6月15日、9月29日に開催し、新任薬剤師研修会、高度管理医療機器販売業等に係る継続研修会、緊急避妊薬の調剤に関する研修会、登録販売者外部研修会、薬剤師による禁煙支援研修会、薬事関係研修会、ヘルシースポット薬局の指定制度の廃止、セルフメディケーション支援薬局指定事業の終了、健康サポート薬局の申請に係る研修会等について協議を行った。

オ 地域医療委員会

令和6年8月19日に開催し、茨城県後発医薬品の使用促進検討会議、茨城県国民健康保険かかりつけ医及び地域の薬局と連携した保健事業、日立健康保険組合によるモデル地域の薬局での特定健診受診勧奨事業、薬剤師認知症対応力向上研修会、薬剤師業務の充実を図るための研修会等について協議を行った。

カ 職能対策委員会

令和6年7月25日、12月8日に開催し、茨城県災害支援薬剤師養成研修会、災害・感染対策に係る研修会、アンチ・ドーピングに係る研修会、ベストライフ事業に係るスキルアップ研修会等について協議を行った。

キ 医療保険委員会

委員会メーリングにより、個別指導に関する情報交換、研修会開催に係る事項等について協議を行った。

ク 薬学生実務実習受入対策委員会

令和6年8月26日、12月19日に開催し、ワークショップの開催、認定講習会(座学)・更新講習会、実務実習の質の向上を目的とした研修会、薬学生実務実習受入担当者会議等について協議を行った。

⑦ 部会

学校薬剤師部会

令和6年10月3日に幹事会を開催し、茨城県学校薬剤師講習会、薬物乱用防止に関する研修会、くすり教育実験セット、学校薬剤師の就任と辞任の斡旋、学校薬剤師異動状況、市町村立学校等の学校薬剤師年間報酬の増額に向けた各地域薬剤師会での対応等について協議を行った。

⑧ 選挙管理委員会

令和7年1月28日に開催し、委員長の選任、公益社団法人茨城県薬剤師会代議員選挙、公益社団法人茨城県薬剤師会役員選挙等について協議を行った。

## 【公益事業】

### 1 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業

#### (1) 薬事情報事業

ア 薬剤師及び医療関係者からの薬事に関する質疑に対応した。(2,187件)

イ 薬局及び県内医療機関に対して医薬品情報に関する「P Iファックス」事業を実施した。

(薬価収載5回)

ウ 本会のホームページを利用した情報提供を充実させるとともに、メールニュースにより、迅速な情報伝達を図った。(メールニュース58回)

エ 県薬会報に「情報室だより」を掲載し、医薬品情報の提供を行った。

オ 日薬及び都道府県薬事情報センターが協力して行っている文献書誌情報検索システム(Bunsaku)等の事業に参加し、薬剤師のD I活動を支援した。

## (2) 学術大会開催事業

薬剤師の資質向上を図るため、関係団体と連携して茨城県薬剤師学術大会を開催した。(12/1、つくば国際会議場、322名)

## (3) 研究支援事業

ア 薬剤師の臨床研究を支援するための研修会を実施するとともに、研究助成事業のあり方について検討した。(研究支援研修会：3/13、WEB、102名 研究助成事業は終了)

イ 倫理審査委員会において、人を対象とする臨床研究を実施しようとする薬剤師に、倫理審査の場を提供した。(審査済1件、審査中0件、保留0件)

## (4) 広報誌発行事業

ア 本会の実施している事業、各種会議の結果、薬剤師を取り巻く状況の周知を目的に、広報誌「県薬会報」を発行し、バックナンバーをホームページに掲載した。(156号～159号(令和6年7月発行分よりWEB版のみ発行))

イ 本会の事業や各種会議の結果等の情報発信や伝達ツールとしてのホームページを運用した。

## 2 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業

### (1) ベストライフ事業

県の委託を受け、ベストライフ医薬品適正使用推進事業等を実施し、県民の生涯学習の場などに講師を派遣するとともに、講師のスキルアップを目的とした研修会を開催した。(派遣74回、研修会は中止とし、次年度に向けたアンケートを実施)

### (2) 薬と健康の週間事業

ア 薬と健康の週間に関連して開催される各種イベントに参加して薬剤師職能を啓発するほか、地域薬剤師会が行う「街頭くすりの相談所」等のイベントの開催を支援した。(32回)

イ 薬剤師職能等を啓発するために、地域薬剤師会の協力により街頭くすりの相談所等のイベント会場でアンケートを実施した。(全回答件数：4,298件)

ウ 県民に、かかりつけ薬剤師を持つことの大切さを周知するために、啓発資材等を活用し広く配布した。(かかりつけ薬剤師啓発ウェットティッシュ)

エ セルフメディケーションを支援する薬局や薬剤師の役割を、広く消費者に啓発するため、薬剤師を講師に県民公開講座を実施した。(12/22、水戸市民会館、125名)

## 3 公衆衛生の普及・指導に関する事業

### (1) ヘルシースポット事業

県の委託を受け、「健康いばらき21プラン」に記載のある「薬局」を拠点として、禁煙相談等の事業を実施した。(薬剤師による禁煙支援研修会：10/24、WEB、397名)

### (2) 毒物劇物適正使用啓発事業

毒物劇物の適正な取り扱いに資するため、毒物劇物取扱者試験受験者のための準備講習会を開催した。(10/5～10/6、薬剤師会館、48名)

### (3) 健康情報拠点推進事業

- ア 県民のセルフメディケーションを支援するため、セルフメディケーション支援薬局を指定した。(指定事業は終了、検体測定室支援は継続)
- イ 日本薬剤師会の健康サポート薬局等に係る研修に協力し、技能習得型研修を実施した。(研修会A：9/29、WEB、56名、研修会B：10/20、薬剤師会館、13名)
- ウ 一般社団法人日本医療薬学会の依頼を受け、地域薬学ケア専門薬剤師制度の研修体制を整えた。(1件)

### (4) 学校薬剤師部会事業

- ア 新任学校薬剤師のための研修会を開催した。(4/14、薬剤師会館、27名)
- イ 学校環境衛生や薬物乱用防止、くすり教育等に関する各種研修を開催した。(学校薬剤師講習会：11/14、WEB、230名、薬乱防止教室研修会：R7/2/9、薬剤師会館、41名)
- ウ 学校薬剤師が行うくすり教育を支援するため、教材等の販売を行った。(37件、306セット)
- エ 学薬メールニュースにより、学校薬剤師への情報提供を行った。(12回)
- オ 学校薬剤師幹旋窓口を市町村教育委員会等への周知することにより、学校薬剤師未設置校への配置を推進した。(市町村立学校等の報酬調査を9月実施、報酬10万円以下の市町村へ報酬増額依頼通知を10月発出)
- カ 日本薬剤師会が実施する全国学校保健調査へ協力した。(814校回答、回答率80.2%)
- キ 地域薬剤師会学校薬剤師部会(地域学校薬剤師会)と連携し、学校薬剤師の就任、辞任希望者の調整を行った。(就任希望調査47名、辞任希望調査31名)

## 4 薬事衛生の普及・啓発に関する事業

### (1) 薬事相談事業

県の委託を受け、医薬品の不適正な使用による県民の危被害を防止するため「くすりの相談室」において、一般県民からの電話等による相談を実施した。(1,388件)

### (2) 医薬品適正使用広報事業

茨城放送の番組「知っていますか？クスリのお話」(週2回放送)に協力し、薬剤師により医薬品の適正使用を啓発した。(26名出演、87回放送)

### (3) アンチ・ドーピング啓発事業

医薬品や健康食品によるうっかりドーピングを防止するため、薬剤師に「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を配布するとともに、競技団体や学校と連携して行うドーピング防止啓発活動を継続して実施した。(ガイドブック配布5月、ブース出展2回、アンチドーピング研修：1/19、薬剤師会館、13名)

## 5 地域医療への貢献並びに医療安全の確保に関する事業

### (1) 地域医療対策事業

#### A. 体制整備

- ア 市町村毎に構築される地域包括ケアシステムの中で、薬局や薬剤師が適切に活動できるよう、地域薬剤師会の活動を支援した。
- イ 県の委託を受け、市町村国保と地域の薬局が連携して行う保健事業を支援した。(古河市、五霞町、石岡市で実施(49軒、194名に受診勧奨)、その他日立製作所による保健事業への協力(ひたちなか市8軒、9名に受診勧奨))
- ウ 茨城県看護協会が実施する「まちの保健室」へ、地域薬剤師会と連携して薬剤師を派遣し

た。(常陸太田市、龍ヶ崎市、下妻市、つくば市、65名)

エ 日本薬剤師会が実施する、緊急避妊薬の販売に関する研究に協力した。(水戸地域6軒、つくば地域6軒、鹿行地域6軒で対応)

オ 県の委託を受け、地域薬剤師会、介護支援専門員、市の三者による連携協議会の開催を支援した。(牛久市、稲敷市、かすみがうら市、太子町)

#### B. 薬剤師の資質向上

ア 入院医療から外来医療、外来医療から入院医療へと移行する場面で、切れ目ない薬物療法を推進するため、地域における薬薬連携や在宅医療の充実を支援した。(在宅褥瘡研修会：12/17、WEB、209名、在宅緩和ケア研修会：2/21、WEB、147名)

イ 県の委託を受け、薬剤師の認知症相談に関する対応力向上を目的とした研修会を実施した。(12/15、WEB、162名)

ウ 茨城県産婦人科医会及び茨城県女性薬剤師会と連携し、オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会を開催した。(5/19、WEB、1,940名)

#### (2) 調剤・医薬品供給体制整備事業

##### A. 休日・夜間受入体制整備

ア 地域における休日・夜間の処方箋応需体制や、県内保険薬局の情報等について、ホームページを活用して広報するとともに、関係団体等と連携し、地域医療の確保を図った。(1,050軒)

イ 地域薬剤師会の院外処方箋案内所が円滑に運営されるよう、薬局の新規開設・休業・廃業情報を提供した。(6カ所226回)

##### B. 薬事講習会

改正薬機法をはじめ、法令遵守の理解を深めるために、茨城県と連携し、薬局業務に関する研修会を開催した。(11/19、WEB、449名)

##### C. 高度管理医療機器管理者継続研修

高度管理医療機器販売業等に係る継続研修会を開催した。(11月、YouTube、545名)

##### D. 一般用医薬品適正販売事業

消費者からの健康や栄養に関する相談への対応や、一般用医薬品の適正販売に関する研修会を実施した。(2/12、WEB、122名)

##### E. 医薬品登録販売者外部研修事業

薬局等に勤務する登録販売者の資質向上のために、研修会を実施した。(前期：11/10、WEB、133名、後期12/8、WEB、132名)

##### F. 計量器検査

地域薬剤師会と連携して実施する、計量法に基づく薬局の天秤の定期検査が円滑に行えるよう、その取りまとめを行った。(8カ所で実施)

##### G. 医療安全対策

ア 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施している「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」に協力し、薬局のインシデント事例の報告及び活用を推進した。

イ 調剤事故発生時に薬局が適切な対応を取れるよう、相談や支援を行った。

##### H. 後発医薬品対策

茨城県後発医薬品の使用促進検討会議が実施する、後発医薬品使用促進の事業に協力した。(啓発講習45回)

##### I. 日本薬剤師会への協力

- ア 日本薬剤師会が実施するDEM事業等に協力した。(令和7年2月実施)
- イ 日本薬剤師会の実施する薬剤師資格証交付事業に地域薬剤師会と連携して協力した。(91名)
- (3) 医薬品品質確保事業
  - 県内に流通している後発医薬品等の安全性・有効性を確保するため、試験検査を実施し、結果を広く公開した。(トリアゾラム錠 0.25 mg、31件、全て適合)
- (4) 保険調剤適正化事業
  - A. 調剤報酬請求事務講習会等
    - ア 適正な保険調剤を推進するため、薬局の新任保険薬剤師を対象に、保険調剤講習会を開催した。(2/19、WEB、63名)
    - イ 薬局の調剤事務職員を対象に、調剤報酬請求事務講習会を開催した。(9/25～9/26、WEB、66名)
  - B. 情報提供
    - ア 令和6年度調剤報酬改正に合わせ、2024年版保険調剤の手引を作成した。(7/1発行、販売数376部)
    - イ 保険調剤に関する情報を薬局に提供するために「保険薬局ニュース」を発行するとともに、メールニュースで保険調剤に関する情報を提供した。(保険薬局ニュース25回)
  - C. 保険薬局指導協力
    - 関東信越厚生局茨城事務所の行う保険薬局指導に協力するとともに、地域薬剤師会と連携して、適正な保険調剤に資する情報を薬剤師に伝達した。(新規個別9回、集団3回、個別6回、集団的個別2回、特定共同指導0回)
- 6 災害時等の医薬品の確保・供給に関する事業
  - ア 災害発生時に関係機関と連携し、速やかに状況把握や被災地における支援等が行える体制を整備した。(四師会のJMAT茨城研修会は開催なし)
  - イ 県の委託を受け、県が認定する災害薬事コーディネーターと連携し、災害支援薬剤師養成事業を実施した。(研修A:11/17、WEB、87名、研修B:12/8、薬剤師会館、38名、認定証発行者48名)
  - ウ 関東・東京エリア薬剤師会災害対策連絡会議に参加し、関東圏で大災害が発生した場合に備えた体制構築を検討した。(5/22会議参加、7/24会議参加)
  - エ 災害時に医薬品供給を目的とした車両が優先的に給油を受けられるよう、災害応急対策車両の指定に係る事務を行った。(更新145台、新規5台、車両等変更7台)
  - オ 県の委託を受け、原子力災害に備えるため、東海第二発電所周辺に居住する住民等を対象に、近隣の協力薬局で安定ヨウ素剤を配布した。(参加薬局81軒、配布3,187件)
  - カ 県の委託を受け、安定ヨウ素剤事前配布に係る住民からのオンライン申請対応の事務を行った。(配布1,639件)
  - キ 県の協力要請を受け、新興感染症発生時における薬局での医療提供体制の整備のため、感染症法に基づく「医療措置協定」に係る事業に協力した。(締結薬局1,151軒、協定締結薬局等を対象とした災害・感染対策に係る研修会:8/22、WEB、441名)

## 7 薬剤師の確保及び資質の向上に関する事業

- (1) 薬学生実務実習事業

- ア 実務実習を円滑に行うために、地域薬剤師会実習受入担当者の会議を行うとともに、メーリングリストを活用し、情報交換を行った。(担当者会議：1/22、ハイブリッド形式)
  - イ 薬局実務実習受入れに関して、地域薬剤師会の担当者や薬学教育協議会関東地区調整機構と連携して、受入施設の割り振りを行うほか、薬科大学と受入れ薬局との連絡調整を図った。(令和6年度受入薬局81軒、受入人数159名、令和7年度受入薬局78軒、受入人数132名)
  - ウ 関東地区調整機構と連携して、認定実務実習指導薬剤師養成のため、講習会及びワークショップを開催した。(6/23(養成講習会、帝京大、1名)、7/14・15(WS、帝京大、2名)、8/4(養成19名・更新講習会27名、薬剤師会館)、9/22(更新講習会、千葉県薬、1名)、11/17(養成講習会、星薬科大、1名)、11/23・24(WS、薬剤師会館、27名)、1/12・13(WS、星薬科大、2名))
  - エ 実務実習の質の向上を目的とした研修会を開催した。(12/16、WEB、203名)
  - オ 茨城県内の薬局で実習を受ける薬学生が研修会等に参加しやすくすることを目的に学生会員制度の周知を行った。(25名入会)
- (2) 薬剤師バンク事業
- 無料の求人情報WEBサイトを運営し、未就業薬剤師の就業を促した。(求人件数33件)
- (3) 生涯研修事業
- ア 新任薬剤師の業務への熱意・向上心を醸成するための研修会を開催した。(6/16、薬剤師会館、42名(薬局16名、病院26名))
  - イ 薬局の社会的責任が増大している状況を受け、薬局等に勤務する薬剤師を対象にコンプライアンス等に関する研修会を開催した。(2/27、WEB、197名)
  - ウ 薬科大学又は薬学部と同窓会による茨城県内で開催される研修会等を支援した。
- (4) 職業啓発事業
- 薬剤師を目指す子供達を増やすため、学校等が行う職業紹介活動に協力するほか、職場体験を受け入れる薬局を紹介した。(職業講話28件、職場体験10件)

## 【共益事業】

### 1 生涯学習支援事業

- ア 地域・職域薬剤師会及び賛助会員である製薬メーカーが主催する研修会に共催した。(三者共催集合研修10件、二者WEB研修25件)
- イ 研修認定薬剤師制度の認定対象講習会に薬剤師の参加を推進するため、地域・職域薬剤師会や関係団体、製薬企業などと連携し、ホームページに研修会情報を掲載・周知した。

### 2 会員の福利増進その他会務の執行

- ア 会務や組織運営の現状に即した各種規程等の見直しを行った。(学校薬剤師部会規則の一部改正、会費規程の一部改正、研究助成事業実施要項の廃止、ハラスメント防止宣言制定、地域・職域薬剤師会承認規定の一部改正、就業規則の一部改正)
- イ 会員の自己研鑽の参考に供するため、有用な書籍を斡旋販売するとともに、会報等で内容を紹介した。(24冊)
- ウ 地域薬剤師会と連携し、薬剤師の入会を促進した。(入会パンフレット作成・配布)
- エ 会員福利を充実させるために、会員特典となるような種々のサービスを取り入れるとともに、会員へ周知した。(乗馬クラブクレイン龍ヶ崎、那須ハイランドパーク、クルマ買取サービスJCM)

- オ 会員に会員の証である、ネームプレートを兼ねた会員証を発行した。(4月発行)
- カ 薬剤師賠償責任保険・サイバー保険・クレーム対応費用保険、アンチ・ドーピング活動保険、薬剤(商品)補償保険、休業補償保険・長期休業補償保険、日薬共済部、薬局ローンの取り扱いを行った。
- キ 薬局・店舗販売業管理記録簿を作成し、管理薬剤師の会員に配布した。(12月発行)
- ク 保険調剤及び請求事務に必要な用紙等を作成し、会員に販売した。
- ケ 製薬企業や医療機器関連企業との連携を深めるために、賛助会員の入会を促進した。
- コ 会員管理の精度を高めるために会員登録内容の調査を行った。(9月実施)

## 【収益事業】

### 1 建物賃貸事業

会議室の貸し出しについて、企業などに広く広報し、促進した。(貸出64回)

### 2 事務代行業

茨城県病院薬剤師会等関係団体の事務代行を受託した。

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成していない。